

ID

氏名

年齢

科名

病棟

CHOP[day2]+Obinutuzumab療法

3 週毎 8 コース予定

疾患名 悪性リンパ腫

主治医 指導医

HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()

スケジュール

【1コース目】

		day	1	2	3	4	5	6	8	15
ガザイバ(オビヌツズマブ)	1000 mg/body		↓						↓	↓
プレドニン	100 mg/body			↓	↓	↓	↓	↓		
ドキシソルビン	50 mg/m ²			↓						
オンコビン(ビンクリスチン)	1.4 mg/m ² 【最大2 mg】			↓						
エンドキサン(シクロホスファミド)	750 mg/m ²			↓						

【2～6コース目】

		day	1	2	3	4	5	6
ガザイバ(オビヌツズマブ)	1000 mg/body		↓					
プレドニン	100 mg/body			↓	↓	↓	↓	↓
ドキシソルビン	50 mg/m ²			↓				
オンコビン(ビンクリスチン)	1.4 mg/m ² 【最大2 mg】			↓				
エンドキサン(シクロホスファミド)	750 mg/m ²			↓				

【7～8コース目】

		day	1
ガザイバ(オビヌツズマブ)	1000 mg/body		↓

- 【注意】 *オビヌツズマブ施行時は体温・脈拍・血圧測定・SpO2測定はup直前におこなうこと。
*オビヌツズマブ投与は0.2又は0.22 μ mインラインフィルターを通して投与すること。
*ニューモシスチス肺炎予防としてST合剤の予防投与を検討すること。
*ドキシソルビシンの総投与量は 500 mg/m²を超えないこと。

☆通常量より減量する際の理由☆

【1コース目】

Day 1

- ① 生食 500 mLにて血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② イブプロフェン100 mg _____錠 + デザレックス5 mg _____錠 内服
- ③ デキサメタゾン 6.6 mg + 生食 20 mL 側管静注

☆30分後より

- ④ ガザイバ 1000 mg + 生食 210 mL(全量 250 mL)
◎輸液ポンプにて 12 mL/時間 で点滴静注
- ⑤ 12 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
◎輸液ポンプにて 25 mL/時間 で点滴静注
- ⑥ 25 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
◎輸液ポンプにて 37 mL/時間 で点滴静注
- ⑦ 37 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
◎輸液ポンプにて 50 mL/時間 で点滴静注
- ⑧ 50 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
◎輸液ポンプにて 62 mL/時間 で点滴静注
- ⑨ 62 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
◎輸液ポンプにて 75 mL/時間 で点滴静注
- ⑩ 75 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
◎輸液ポンプにて 87 mL/時間 で点滴静注
- ⑪ 87 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
◎輸液ポンプにて 100 mL/時間 で点滴静注

Day 2 抗がん薬投与1時間半前にアプレピタントカプセル125 mg 1C 内服

- ① 生食 500 mLにて血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② パロノセトロン 0.75 mg + 生食 20 mL 側管静注
- ③ プレドニン 100 mg + 生食 50 mL 点滴静注5分(600 mL/時間)または内服

CHOP[day2]+Obinutuzumab療法

- | | | |
|----------|------------|-------------------|
| ④ ドキソルビン | + 生食 50 mL | 点滴静注5分(600 mL/時間) |
| ⑤ オンコビン | + 生食 50 mL | 点滴静注5分(600 mL/時間) |
| ⑥ エンドキサン | + 生食100 mL | 点滴静注60分 |

◎血管確保していた生食をエンドキサンと同時滴下90分で点滴静注

Day 3 - 4 アプレピタントカプセル80 mg 1C 1×朝 内服

Day 3 - 6 プレドニゾロン 内服

Day 8, 15

- | | |
|--|--------------|
| ① 生食 500 mLにて血管確保 | 維持(20 mL/時間) |
| ② イブプロフェン100 mg_____錠 + デザレックス5 mg_____錠 | 内服 |
| ③ デキサメタゾン 6.6 mg + 生食 20 mL | 側管静注 |

☆30分後より

※前回投与において発現した有害事象がGrade2以下であった場合

- ④ ガザイバ 1000 mg + 生食 210 mL(全量 250 mL)

◎輸液ポンプにて 25 mL/時間 で点滴静注

- ⑤ 25 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて 50 mL/時間 で点滴静注

- ⑥ 50 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて 75 mL/時間 で点滴静注

- ⑦ 75 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて 100 mL/時間 で点滴静注

【2-6コース目】

Day 1

- | | |
|--|--------------|
| ① 生食 500 mLにて血管確保 | 維持(20 mL/時間) |
| ② イブプロフェン100 mg_____錠 + デザレックス5 mg_____錠 | 内服 |

③ デキサメタゾン 6.6 mg + 生食 20 mL

側管静注

☆30分後より

※前回投与において発現した有害事象がGrade2以下であった場合

④ ガザイバ 1000 mg + 生食 210 mL(全量 250 mL)

◎輸液ポンプにて 25 mL/時間 で点滴静注

⑤ 25 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて 最大 225 mL/時間 まで投与速度を上げることができる

Day 2 抗がん薬投与1時間半前にアプレピタントカプセル125 mg 1C 内服

① 生食 500 mLにて血管確保

維持(20 mL/時間)

② パロノセトロン 0.75 mg + 生食 20 mL

側管静注

③ プレドニン 100 mg + 生食 50 mL

点滴静注5分(600 mL/時間)または内服

④ ドキソルビン + 生食 50 mL

点滴静注5分(600 mL/時間)

⑤ オンコビン + 生食 50 mL

点滴静注5分(600 mL/時間)

⑥ エンドキサン + 生食100 mL

点滴静注60分

◎血管確保していた生食をエンドキサンと同時滴下90分で点滴静注

Day 3 - 4 アプレピタントカプセル80 mg 1C 1×朝 内服

Day 3 - 6 プレドニゾロン 内服

【7-8コース目】

Day 1

① 生食 500 mLにて血管確保

維持(20 mL/時間)

② イブプロフェン100 mg_____錠 + デザレックス5 mg_____錠 内服

③ デキサメタゾン 6.6 mg + 生食 20 mL

側管静注

☆30分後より

※前回投与において発現した有害事象がGrade2以下であった場合

CHOP[day2]+Obinutuzumab療法

④ ガザイバ 1000 mg + 生食 210 mL(全量 250 mL)

◎輸液ポンプにて 25 mL/時間 で点滴静注

⑤ 25 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて 最大 225 mL/時間 まで投与速度を上げることができる

	1コース				2コース		3コース		4コース	
	day1	day2	day8	day15	day1	day2	day1	day2	day1	day2
日付	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
ガザイバ 開始時刻	↓		↓	↓	↓		↓		↓	
プレドニン 開始時刻		↓				↓		↓		↓
ドキシソルピシン 開始時刻		↓				↓		↓		↓
オンコビン 開始時刻		↓				↓		↓		↓
エンドキサン 開始時刻		↓				↓		↓		↓
確認										

	5コース		6コース		7コース	8コース
	day1	day2	day1	day2	day1	day1
日付	/	/	/	/	/	/
ガザイバ 開始時刻	↓		↓		↓	↓
プレドニン 開始時刻		↓		↓		
ドキシソルピシン 開始時刻		↓		↓		
オンコビン 開始時刻		↓		↓		
エンドキサン 開始時刻		↓		↓		
確認						